



令和6年度社員総会開催しました

令和6年6月26日（水）に、横浜市社会福祉センターホールにて、「令和6年度一般社団法人横浜市介護支援専門員協議会社員総会及び基調講演」を無事に終えることが出来ました。

まずは、開催に至れたこと、会員の皆様に心から感謝申し上げます。

当日の数多くの皆様が参加され、盛大な総会及び基調講演が開催出来ました。

前半の総会では、YCM 全体の昨年度の活動報告と今年度の活動計画、会計報告、各委員会の活動報告と活動計画を発表させて頂きました。

今年度は、改選が行われなかったため、前年度の代表理事、副理事、理事が続きます。



後半の基調講演では、医療法人社団 悠翔会 理事長・診察部長 佐々木 淳医師を講師にお招きし、味覚繁栄「今日なに食べる？」～ハンバーガーと牛丼から学ぶ！～高齢者の食事と栄養 というテーマにさせて頂き、佐々木先生から在宅での食事の大切さ、栄養ケアの必要性など、実際の事例を踏まえて、分かりやすくご講義頂きました。私たちケアマネジャーにとって、「食事と栄養」の視点をしっかり持つ事が大切である良い気づきの機会となりました。

活動報告

能登半島地震義援金を 珠洲市介護支援専門員協議会にお届けしました



この度は義援金にご協力いただきました皆様のご理解・ご支援に心より感謝申し上げますとともに被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、令和6年5月13日（月）YCMの有志メンバーが会員の皆様、区連絡会等々より預かりました義援金 364,712 円を持って石川県珠洲市役所お伺いいたしました。そこで珠洲市役所福祉課時兼氏ご同席のもと珠洲市介護支援専門員協議会会長の作田氏に直接手渡しさせていただきました。

東日本大震災後も現地に出向かせて頂きましたが、その時は津波で家屋が流され何もなくなっていたという状況でしたが、今回私たちが目にしてきた珠洲市は倒壊した家屋がそのままの状態でも重機や片付けをしている人影もない状況でした。東日本大震災とはまた違う悲惨さが目にとまり、改めて震災の恐ろしさを実感しました。珠洲市は人口約1万、高齢化率47% ケアマネさんは30名ほどで居宅は3か所あるとのことですが、しかし、震災後から市外に避難して戻って来られていない高齢者も多数いる状況で、元通りの生活というのは、まだまだ時間が必要そうです。

インフラに関しても、市役所の下水道が断水したままでトイレも使用できず敷地の一面に他市区町村からの支援のトレーラー式トイレを設置、使用されている現状でした。

（写真左が珠洲市役所）

（写真右がトレーラー式トイレ）



作田氏の話によると、「震災当時、非常持ち出し袋を持って避難所においても自分たちだけの分しかない。周りの人で何も持ち出せず避難した人もいるなか自分たちだけ飲食はできない。全員分が確保できないのであれば非常持ち出し袋はもっていかないのがよい」とのことでした。自分も周りも被災者であるということ、テレビ等で報道されている対策がかえって心苦しい環境を作り出してしまうこともある、言葉にできない複雑な心境になるとともに、実際に横浜で被災した時にはどのような感覚になるのだろうかとも考えました。

また、当時、何に困り、何があつたら助かったか伺ったところ、

1. トイレやごみの処理、特におむつ類
2. ペットシーツや凝固剤 ビニールのゴム手袋（使い捨てでない方が嬉しいようです）
3. 全国から届く物資の整理（ダンボールの中身がわからない。出したあとのダンボールの処理等）
4. 紙皿や紙コップなど
5. 夏に向けて、うちわや扇風機など

といったご意見がありました。

地域性もあるかと思いますが、ペットシーツや凝固剤は意外でした。凝固剤は値段が高いのであまり用意できていなかったようです。珠洲市の困りごとと横浜市や各市区町村の困りごとは異なるかもしれませんが日頃からの応急備品等準備の大切さを痛感しました。

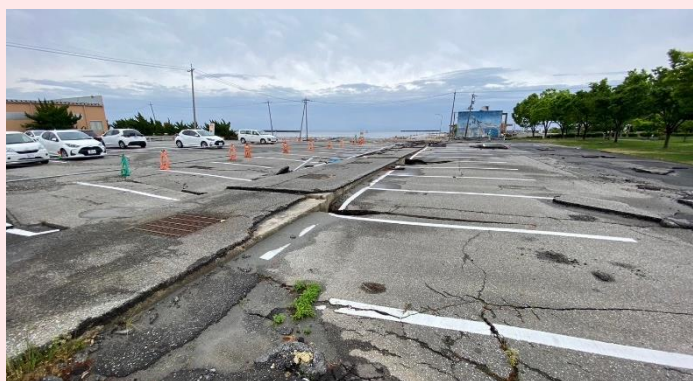
そしてダンボールの整理は大事かと。今回一緒にいったメンバーからもダンボールの整理はケアマネとか専門性がなくてもできる支援。今後、横浜も有志でチーム作りを横浜市と一緒にしていけたらという意見もありました。その時は皆様、是非、ご協力をお願いします。

今回、震災という悲しいことでできたご縁ですが、来年以降もつながりを大切にしていきます。

【作田会長から一人のケアマネさんの話です】

「珠洲市では 30 名ほどのケアマネさんが活動しています。その中でケアマネさんが倒壊した家屋から体の一部が見つかりました。昨日まで一緒に仕事をしていたのに」

この話を聞いて私はいたたまれない気持ちになりました。一緒に頑張って働いていた仲間がこの震災という被害によって急な別れになってしまったかと思うと悲しい限りです。場所は違いますが、同じケアマネの仕事をさせていただいている私たちも、日々後悔なく支援をしていきたいと改めて感じました。



(被災されたままとっている場所の写真)

委員会報告

制度対策委員会

制度対策委員会では現在新しいメンバーを募集しています！現在委員は10名ほどで毎月第2火曜日の19時00分～20時45分、場所は桜木町にある横浜市健康福祉総合センターにて行っています。会議の参加者は平均6名程度なので、毎回の出席でなくても構いません。内容はケアマネジャーが働きやすい環境づくりのための話し合いや「いまケア」研修の企画・開催を行っています。これまでに、介護予防支援のケアプランの期間を6か月から1年に延長してもらえるように横浜市に提言させていただききっかけを作りました。

私たちは今ある制度について検討することが目的というよりも、市内で働くケアマネさん達が働きやすい環境づくりやケアマネの地位向上につながれば良いと考えています。

近年、ケアマネの人材不足が叫ばれていますが、電球の交換やペットの世話、書類の作成代行など、本来のケアマネ業務からかけ離れた依頼（シャドーワーク）が多く、手一杯になっているケアマネさんも多いのではないのでしょうか。もちろんご本人様のためにはなるかもしれませんが、ケアマネという職種全体が「ある程度のシャドーワークが当たり前」とご利用者様のみならず、社会全体から思われてしまうことが残念でなりません。

普段の業務に追われる中、シャドーワークも含めて業務過多により、サービス残業をしている現状も少なからず見受けられます。

こうした状況で、果たして20年後や30年後のケアマネの業務や地位は適切な状況になるのでしょうか。介護を必要とする方々がいらっしゃる限り、私たちは「きれいごと」ではなく胸を張って就ける職業であり続けたいと感じています。

行政を含めて皆さんと一緒により良いケアマネの環境を作っていけたらと思っています。ぜひ、私たちの活動に力を貸してください！




協賛団体のご紹介 (合計 29 団体)

 横浜ハウネス

MEMORE GROUP

 FirstCare
株式会社ビーシステム

 フランスベッド

 CREW
ケアマネージメントセンター・クルー

 SHIBAHASHI
since1928

 YAMASHITA

委員会報告

医療連携委員会

医療連携委員会です。

毎月ZOOM会議で研修の企画や医療に関する情報共有など話し合いをしています。

医療連携委員会ではお手伝いができる方を募集しています。定例会でもよいので声をかけてください。

横浜市では、令和6年から令和8年まで、「よこはまポジティブエイジング計画」を実施しています。これは高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画と認知症施策推進計画を一体的に行っていくものです。特に認知症施策については共生、備え、安心の柱を掲げています。認知症啓発動画の作成をして認知症のネガティブなイメージや偏見をなくすための動画と物忘れ検診の認知度を向上させる動画の2本を予定しています。医療機関や薬局や公共交通機関にも流す予定です。9月21日が「認知症の日」と定められています。チームオレンジによるスローショッピングも取り組んでいるそうです。

このような情報共有も委員会では行っています。

明日をひらく都市
OPEN・FINDER
YOKOHAMA

横浜市記者発表資料

令和6年4月10日
健康福祉局高齢住宅支援課
宗区高齢・障害支援課
横浜市桂台地域ケアプラザ

横浜市×(株)イトーヨーカ堂×自治会×宗区社協×横浜市桂台地域ケアプラザ
政令市初！スローショッピングを始めます

誰もが高齢になることで心身の機能が低下します。特に認知機能が低下すると、買い物での商品選びや支払い、店舗などを行うことに難しさを感ずることで、自信や意欲をなくし、結果的に買い物の機会が減ってしまうことが少なくありません。

そこで横浜市では、誰もが年を重ねても外出して人と交流し、楽しみながら買い物自分で行うことで自信や役割を取り戻すことを目的に、スローショッピングの取組を進めています。

令和6年4月から、イトーヨーカドー桂台店(※1)においてスローショッピングを開始します。本取組は、イトーヨーカドー桂台店(買い物の場)、自治会(ボランティア、コミュニティバス)、宗区社会福祉協議会(ボランティアの紹介)、横浜市桂台地域ケアプラザ(事務局)、横浜市(事業企画)の協働及び特別養護老人ホーム・ライフコートさかえの協力により、チームオレンジ(※2)として実施します。

※1 連携協定について：株式会社イトーヨーカ堂と横浜市は、平成24年に地域活性化包括連携協定を締結しています。

※2 チームオレンジについて：認知症の人や家族の希望や困りごとなどの声をもとに、その実現や解決に向けた取組を、地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める取組です。

■スローショッピングの概要

開催頻度：月1回(毎月第3水曜日)

開催場所：イトーヨーカドー桂台店(地区桂台中15-1)

実施内容：・ボランティアと一緒に買い物の実施
・店舗によるスローレジ・休憩スペースの設置
・買い物後の休憩スペースでの茶話会

※参加には桂台地域ケアプラザへの事前申込が必要です。

【参考】執行実施について

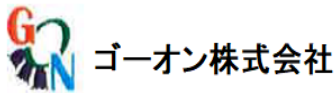
- ・動機等確認のため、令和6年1～2月に2回にわたり執行実施しました。
- ・地域ケアプラザから声掛けした4～6名が参加し、「一人だと買い物が億劫だが一緒にいてくれると楽しい」等の声をいただいています。

■コミュニティバスとの連携について

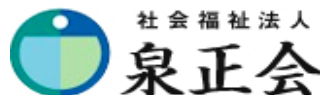
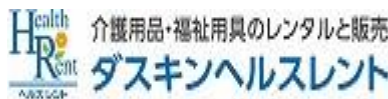
桂台自治会では、ライフコートさかえからバス(運転手同時派遣)の無償提供を受けてコミュニティバスの運行をしています。スローショッピング実施にあたり、運行時間の調整などのご協力をいただいています。コミュニティバスのキャラクターや名称「はすっぴん」は、地域の小・中学校の協力を得て、決定しました。

お問合せ先

(事業全般に関すること) 健康福祉局高齢住宅支援課長 吉原 祥子 Tel 045-671-2368
(宗区の取組に関すること) 宗区高齢・障害支援課長 小嶋 安子 Tel 045-894-8513
(本取組に関すること) 横浜市桂台地域ケアプラザ 所長 藤田 順子 Tel 045-897-1111



人にやさしい住まいを
株式会社 サンライトホーム



委員会報告

研修委員会

研修委員会の報告です。

戸塚ケアネット主催 7月16日（火）戸塚区公会堂にて「アセスメント ～ICF の考え方を取り入れたアセスメント手法～」を開催しました。講師は高部委員と青木委員が務めました。約40名の参加者で講義と演習の構成で参加者も熱心に聴講されていました。

8月20日（火）中区役所にて包括主任 CM 主催研修「課題分析・整理のポイント！」のタイトルで洪委員長が登壇しました。ニーズと課題分析について、振り返りながら1表の「課題分析の結果」の表記についても確認を行いました。参加者からは「課題分析シートに不慣れな点、苦手な部分でしたが参考にして自分なりに取り入れてプラスにしていきたい」といった声や「普段ある程度仕事に慣れてきてインプットすることが少なくなってきたので本日の研修はとても刺激になりました」など前向きな言葉をいただけて大変嬉しく思います。

12月5日（木）午後、開港記念会館にて「糖尿病の理解と運動療法」を開催予定です。糖尿病の疾患とケアプランを作成するうえで留意することや運動療法に焦点をあてた研修を行います。

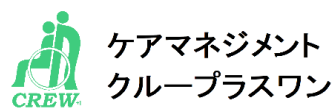
万障お繰り合わせの上、ご参加ください。



高部委員



青木委員



委員会報告

広報委員会

広報委員会は定例会の際に会員様向けに横浜市からの情報提供をライブ配信したり、年2回広報誌の発行等、協議会活動を皆様にも少しでも身近に感じていただきたいため、周知活動を行ったりしています。

ライブ配信は数日前に会員の皆様への元メールにて視聴のご案内を送らせていただいています。お時間があれば、ぜひ一度ご視聴いただきたいなと思っております。

その他、引き続きY C Mの活動の周知・情報提供を行っていきます。

また、広報委員会も委員の募集をしています！！

あまり表には出ない作業が中心の活動内容が多いですが（笑）、定例会や広報誌作成等を通じてY C Mのことを皆様に知っていただけることはすごく嬉しいです、打ち合わせも不定期でZOOMにて年に数回程度です。

特にライブ配信は人手が多いと助かるので、小さなことからでも構いませんのでお手伝いして下さる方がいらっしゃいましたらご協力をお願いします！！



株式会社メディケアー

金沢ケアマネ倶楽部

港南区ケアマネ連絡会

委員会報告

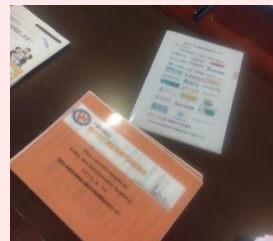
事務局

YCM 事務局です。

事務局は日ごろから YCM の活動を裏方として支えています、その一部をご紹介します。

6月26日令和6年度総会が開催されましたが、準備期間中は個人会員様と協賛会員様へのお知らせの送付や総会議案書の作成、当日来場された方に配布したクリアファイルの作成等を行っています。

また、今年度は新たに縦190センチ、横100センチの YCM のポップアップバナー（立て看板）を作成しました。この看板は今後の YCM 主催の研修でも YCM の広報に役立つと自負しています。



そして、8月25日に YCM のフェイスブックを開設いたしました！

これから色々なトピックを発信していきます。皆様のフォローや「いいね」もお待ちしております！

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61564616469991&mibextid=ZbWKwL>

どうぞよろしくお願い申し上げます。

今後事務局は YCM の活動を支えていきます！



【協賛団体募集のお知らせ】

YCM では協賛団体を募集しております。

協賛団体になっていただきますと、ホームページにバナーリンクの掲載や主催研修等にもご参加いただけます。

協賛金は年間 20,000 円です。（4月～翌年3月まで）

よこみち (会員コラム)

～木彫り～

「Nさんもできそうですね」

「できると思うよ」

きっかけはちょっとしたことだった。

そうなったらやらずにいられない。もう頭の中にはイメージが沸々と沸いている。

確か家に道具となる彫刻刀と小刀はある。あとは材料探し。イメージは手のひらサイズ。



これもふとしたところで出会う。

立ち寄った 100 円ショップで見かけた 5cm 四方の檜のブロック。

「これはいける！」

あとは作成に取り掛かるだけ。

実際に取り掛かると想像していた以上に難しい…。

「これは本当に形になるのか？」

必死に頭の中のイメージを目の前の木にリンクさせる。

彫り進めていくと段々と形になってくる。この感覚が心地よい。

創作活動に神経が集中すると日常のストレスから解放される。

「禪」に通ずるものがあるのかもしれない。

出来上がった作品はほとんどが最初のイメージと少し違うものになるがこれはこれでまた良い。

「次は何を彫ろうか…」 わくわくが膨らむ。



よこみちとは…

よ (Y) こ (C) み (M) ち (team) = YCM と仲間 (team) が一緒になって盛り上げていきたいという気持ちから、コラムのタイトルにしました。

発行・お問い合わせ先

一般社団法人横浜市介護支援専門員協議会

(元町ケアサービス内)

TEL : 045-641-3769

e-mail : ycm-socio@ycm2021-kyogikai.jp